



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡市駿河区南町 6-16 202-2

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

号外



参議院議員

藤本祐司

2009年12月号

密室政治から見える政治への第一歩としての「事業仕分け」

11月27日、多くの人々が注目した「事業仕分け」が終わった。子どもたちが傍聴に来たり、インターネットで学校の授業に使われたりとびっくりするほどの反響があった。私も国土交通大臣政務官として2日間会場に行って“仕分け人”として発言した。

これまで予算の使い方は官僚が密室で交渉してきた。それが見えるようにしたことは画期的なことであると思う。過去の自民党政権下では、国民の目線で国民にわかるように国の事業をチェックしたことは一度もなかった。**政権交代があったからこそ、お金の流れが国民にもわかるようになってきたのだ。**

本来、予算は国会、特に予算委員会で審議すれば良いことだ。しかし、これまでは予算委員会でムダを指摘しても予算を1円たりとも修正することはなかった。ただ単に審議時間が過ぎるのを待っているだけであった。野党側も政治家のスキャンダルばかり追求してきたことも予算委員会を形だけにしてしまう原因であったことも否定できない。**今後は「事業仕分け」と予算委員会のあり方を検討しながら、見える政治を実行していくことが大切だ。**

「事業仕分け」の中でも特に関心が高かったことは、独立行政法人（以下「独法」）のムダである。独法は相変わらず国家公務員の天下りを受け、随意契約で国費（事業費）を受け取り、その事業費を下請けに再委託するなどしている例が多い。

この**独立行政法人の改革には近々着手する。**今国全体で98の独法がある。国土交通省所管は20法人。副大臣と大臣政務官で一人4法人ずつ担当して、それぞれの独法をチェックする。独法の事務所は東京にあっても、事業は全国で実施している場合もある。

現場を見なければわからないこともあるはずだ。臨時国会閉会后、出張して現場を訪問する機会が増えそうだ。

12月は「事業仕分け」の結果を踏まえて年末までに来年度の予算を作る。なんとか大晦日を役所で迎えることは避けたいと思っているのだが・・・。

「事業仕分け」がお金の使い方のチェックであるならば、お金が入ってくる方は税金である。麻生内閣が来年度予算の前提としていた税収は46兆円。しかし、財務省によると世界同時不況等の影響で税収は8兆円ほど落ち込むかもしれないとのこと。ますます予算を絞り込まなければならない。**財政状況が悪い時は悪い年の予算を組まなければ、大量に借金をして将来につけを回すことになってしまう。**

その税金の見直しを先月から始めている。取りかかってみて、改めて税制が複雑であることがわかった。もっとシンプル（単純）にしてわかりやすくすべきである。複雑になっている原因の1つは特別措置が数え切れないほど沢山あることだ。住宅取得減税やエコカー減税などよく耳にする税もあるが、聞いたこともない減税措置が2年とか3年ごとに更新されている。前政権は企業団体からの要望を受けて期限付の特別措置を繰り返し認めてきた。**今後は政治家同士の折衝によって、時間をかけてでもわかりやすい税制を作り、特定の人だけが得する税制を改めることが大切だ。**

予算も税制も絡み合った糸のように複雑である。その糸をほぐす作業が政権交代を期に始まった。平坦な道ではないが、やるしかない。

～藤本ゆうじの自分史～ その5

小学校5年と6年生の時は野球にも熱中した。もっぱら夏休みだけだったが、ほぼ毎日真っ黒になって小嵐中学の運動場で練習した。夏休みの終わりには町内対抗戦が行われる。実は私の楽しみは野球よりも試合の後、公民館でみんな一緒に食べる食事だった。特に「みのる亭」という近くの洋食屋さんから出前をしてもらったとんかつとハンバーグの味が忘れられない。今度熱海に行ったら寄ってみようと思う。

小学4年生の担任は体育会系の田村邦彦先生（先月号参照）、5年生の担任は優しい足利（旧姓佐野）みどり先生。足利先生は私の担任の時に結婚されたが、その足利先生はなんと妻の遠縁にあたるようだ。妻もつい先日知ったらしい。世の中狭いものである。6年は厳しいが暖かい鈴木作平先生。伊東に住んでいらした鈴木先生は残念ながら他界されたと聞いた。

夏休みは野球に明け暮れたが、宿題はきちんとやった。今でも自慢できる理科の研究がある。福島の飯坂温泉の温泉卵をお土産にもらったら、黄身は固く、白身がとろとろだった。普

泉卵は逆なのかと不思議に思って実験した。温泉は比較的高温でしかも一定だ。実験では、湯の温度を一定に保ちつつ、ゆでる時間を変えながら、もっとも温泉卵を作るのに適当な温度と時間の組み合わせを実験で証明した。残念ながらそれがどの組み合わせだったかを忘れてしまったが、実験の副産物として普通のゆで卵を作るのがうまくなった。今でも妻が卵をゆでる時、私にゆで時間を聞いてくる。少し自慢だ。

父が支配人をしていた「新熱海ホテル」には温泉の大浴場があった。この浴場が洒落ているというか、ちょっと珍しかった。音楽が鳴っているのだ。脱衣場や風呂場で音楽が鳴るのではない湯船の中で音楽が鳴っているのである。風呂に浸かっているだけでも音楽は多少聴こえるが、よく聴くためには風呂の湯の中に頭を突っ込むしかない。風呂に入っている人がみんな湯船に潜っている。おかしな光景である。これは父親のアイデアだと言う。変なことを考えつくものだ。アイデアマンの父には亡くなるまでたびたび楽しませてもらった。＜続く＞

＜藤本ゆうじの活動紹介＞

■藤本ゆうじのホームページにアクセスしてください。 <http://www.fujimoto-yuji.org/>

* 藤本ゆうじの政府や国会での活動、政治姿勢や考え方を知ることができます。

■メールマガジンに登録してください。

* ホームページの内容や毎月発行している民主号外など藤本祐司の活動をメールマガジンで配信しています。藤本祐司のホームページから簡単に登録できます。

■民主党参議院議員藤本ゆうじのラジオ番組「藤本ゆうじのかる～くポリティクス」

* 12月の放送は12月25日（金）です。クリスマスソングとともに来年度の予算編成過程や税制改正、独立行政法人改革などの話題をお話します。新聞やテレビでは知りえない話もお話できると思います。FM・Hi(76.9MHz)に合わせて、お楽しみください。

＜藤本ゆうじ事務所＞

静岡事務所 〒422-8067 静岡市駿河区南町 6-16 パレ・ルネッサンス 202-2

TEL : 054-280-7604 FAX : 054-285-7993